

# 令和6年度学校自己評価システムシート (県立越谷南高等学校)

目指す学校像	「文武両道」をとおして「知・徳・体」の調和を実現し、目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	---

重点目標	1 PISAタイムやICT活用による授業改善・教材開発を推進し、生徒が実感できる確かな学力の向上を確立する。 2 自主性を育むメリハリある生徒指導やきめ細かな進路指導を充実させ、学校行事や部活動など「文武両道」に基づく豊かな人間性を育成する。 3 外国語科の特性を生かし、異文化理解を深め、語学力を向上させ、主体的にコミュニケーションを図ることができる生徒を育成する。 4 人材派遣等を含め地域活動における連携・協力を深め、本校の魅力を積極的に発信するなど開かれた学校づくりを推進し、公共心や社会性が豊かな生徒を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	○新学習指導要領への移行から3年目を迎え、観点別評価への周知理解促進やPISAタイムの課題について工夫改善を図っている。 ○1・2年生の大半の平日の家庭学習時間が1時間未満で、スタディサプリも利用率が低く、学習の動機付けにつなげていない。	授業改善・教材開発の推進	①PISAタイムの工夫改善、ICT活用の授業改善を推進する。 ②授業評価アンケートを毎学期、授業公開週間を年2回実施する。	①PISAタイム、ICT活用の授業研究が実施できたか。 ②生徒の授業満足度、教員相互の授業見学率が向上したか。		
		確かな学力の向上の確立	①最新入試傾向を分析し、学力向上を実感できる授業を実践する。 ②スタディサプリの有効活用と共に、生徒のニーズを検証する。	①教員の進路研修参加者数、生徒の模試平均点が向上したか。 ②生徒の自主学習、スタディサプリの視聴時間が増加したか。		
2	○時代の変化に合わせ、校則等の見直しを図ってきた。生徒の基本的な生活習慣は概ね良好であるが、自主的・自発的行動力が弱い。 ○「文武両道」で部活動を3年間全うする生徒が大半である反面、進路希望実現に向けて受験勉強への取りかかりが遅い傾向がある。	自主性を育むメリハリある生徒指導	①規制を緩和しながら、生徒自身が行動選択できる環境を整える。 ②生徒自身が行事を運営し、主体的に参加できる企画を実現する。	①自浄作用のある集団として、生徒指導事案を抑止できたか。 ②生徒会が中心となり、行事での新たな試みを実施できたか。		
		きめ細かな進路指導の充実	①3学年の面接・小論文指導等を学年団を越えて全体で分担する。 ②全員必須の模試に加えて、難関希望者への模試受験を奨励する。	①全体で進路指導方針を共通理解し、受験指導に当たれたか。 ②国公立、難関・中堅私大に延べ200名以上合格できたか。		
3	○コロナ禍が明け、外国語科独自の宿泊研修等も再開できており、今年度は夏季休業中のオーストラリア語学研修も実施予定である。 ○外国語科の授業では特にアウトプット活動の能力伸長を図っているが、羞恥心の克服や意見を表明できる態度の育成に課題がある。	外国語科の特性を生かした異文化理解の推進	①ALTとのチームティーチング授業の内容と回数を充実させる。 ②海外への留学制度の活用と、海外からの留学生受入を推進する。	①常駐の2名のALTを教育活動全体で有効に活用できたか。 ②海外への留学希望者、海外からの留学希望者が増加したか。		
		語学力及びコミュニケーション能力の育成	①英語及び第二外国語の検定やコンテストに積極的に参加する。 ②外国語科生の英語劇にプロの指導を取り入れ、全校に披露する。	①検定やコンテストへの参加により、語学力が向上したか。 ②英語劇の取組により、言語・非言語の表現力が向上したか。		
4	○保護者や中学生対象に学校公開する機会はあるが、地域への周知や連携はまだ十分でない。異校種交流は先方からのニーズがある。 ○ホームページ内のブログの毎日更新や公式インスタグラムで情報発信している。中学生からは部活動に関する情報のニーズが高い。	地域活動における連携・協力の強化	①学校公開日等を周知し、地域のイベントにも積極的に参加する。 ②近隣の幼保小中高との交流や、大学と連携した取組を企画する。	①学校公開の来校者数、地域と連携した取組が増加したか。 ②近隣の学校との交流、大学と連携した取組が実施できたか。		
		本校の魅力に関する積極的な情報発信	①学校ホームページのレイアウトや内容を閲覧者目線で改善する。 ②学校案内の構成や学校説明会等の内容を中学生目線で改善する。	①学校ホームページの刷新により、アクセス数が増加したか。 ②学校説明会等の説明内容に、中学生の満足度が向上したか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	